

支部 Newsletter

【北海道支部】

◎第70回大会予告

日本英文学会北海道支部第70回大会を2025年10月13日（月）に北海道大学にて対面形式で開催する予定です。70回の節目ですので、歴代支部長による記念講演を予定しております。詳細につきましては、決まり次第、支部HPに掲載予定です。

◎電子メールアドレス登録について

北海道支部事務局では、会員の方々に電子メールアドレス登録のご協力をお願いしております。支部からの連絡は、原則として電子メールを通して行っております。まだ登録されていない会員、あるいはアドレスに変更が生じた会員におかれましては、速やかに本部事務局 (ejimu2@elsj.org) と支部事務局 (hokkaido@elsj.org) にご連絡のほどよろしくご申し上げます。

◎支部事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
札幌学院大学人文学部英語英米文学科
日本英文学会北海道支部事務局

[TEL/FAX] 011-386-8111

[e-mail] hokkaido@elsj.org

[HP] <http://www.elsj.org/hokkaido/>

(文責 山添秀剛)

【東北支部】

◎東北支部第80回大会開催予告

東北支部第80回大会が2025年11月29日（土）に東北大学川内南キャンパスで開催されます。参加者の語らいの場として懇親会も企画しております。大勢のみなさまのご参加を心よりお待ちしております。詳細については、支部大会プログラムをご覧ください。

◎『東北英文学研究』第16号について

今年度は文学部門に5編、英語学・英語教育部門に1編の投稿がありました。6月21日開催の編集委員会（オンライン）にて投稿論文の審査を終え、審査結果が編集委員の所見とともに投稿者へ送付されました。8月10日まで修正論文の提出を受け付け、8月末の再審査を経て、最終的に第16号に掲載される論文が決定されます。

◎『東北英文学研究』第17号原稿募集

『東北英文学研究』第17号の原稿を募集しています。締切は2026年4月30日です。支部ホームページ (<https://elsj.org/tohoku/>) に掲載されている投稿規程をご確認の上、事務局 (tohoku@elsj.org) 宛に奮ってご応募ください。支部ホームページより、論文のテンプレートとカバーレターをダウンロードしてお使い下さい。

会員の皆様におかれましては、東北支部の機関誌である『東北英文学研究』を研究成果発表の場として積極的にご活用いただけたら幸いです。

(文責 三枝和彦)

【関東支部】

◎関東支部第26回大会（2025年度秋季大会） 予告

日本英文学会関東支部第26回大会（2025年度秋季大会）は、2025年11月9日（日）に東京農業大学世田谷キャンパスにて開催される予定です。詳細については、関東支部HP (<https://www.elsj.org/kanto/>)、日本英文学会HPの「支部情報」をご覧ください。

◎『関東英文学研究』第18号について

『関東英文学研究』第18号の応募を2025年5月15日（木）に締め切りました。投稿数は15編（英文学9編、米文学4編、英語圏文学1編、英語学・英語教育1編）で、7月12日（土）にオンライン（Zoom）で開催された編集委員会にて、評価を取りまとめました。審査結果は同月中旬に投稿者に通知いたしました。

◎理事会報告

2025年3月16日（日）～20日（木）に、メール審議にて2024年度第3回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2025年度理事会
2. 2025年度大会
3. 2025年度編集委員会
4. 2025年度大会準備委員会
5. 2025年度日本英文学会関東支部事務局
6. 2025年度関東支部予算書
7. 2024年度収支計算書

2025年6月21日（土）にオンライン（Zoom）で2025年度第1回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2025年度大会

2. 2025年度投稿論文
3. 2025年度予算
4. 2024年度事業報告・決算

2025年度の日本英文学会関東支部理事は以下の通りです。（敬称略・五十音順）

支部長
佐藤和哉（日本女子大学）

副支部長
武田将明（東京大学）

本部理事
阿部公彦（東京大学）、佐藤和哉（日本女子大学）、武田将明（東京大学）

理事
阿部公彦（東京大学）、石原剛（東京大学）、岩田美喜（立教大学）、大石和欣（東京大学）、大串尚代（慶應義塾大学）、越智博美（専修大学）、久世恭子（東洋大学）、佐藤和哉（日本女子大学）、佐藤光重（慶應義塾大学）、秦邦生（東京大学）、高桑晴子（お茶の水女子大学）、武田将明（東京大学）、ハーン小路恭子（専修大学）、原田範行（慶應義塾大学）、堀田隆一（慶應義塾大学）

2025年度の日本英文学会関東支部監事は以下の通りです。（敬称略・五十音順）

監事
田中裕介（青山学院大学）、古屋耕平（青山学院大学）

2025年度の日本英文学会関東支部事務局員は以下の通りです。（敬称略）

事務局長
塚田雄一（早稲田大学）
事務局長補佐

志賀俊介（成蹊大学）
理事会書記
五十嵐奈央（宇都宮大学）
編集委員会書記
大島範子（大妻女子大学）
大会準備委員会書記
石測理恵子（慶應義塾大学）
HP 担当
西野方子（東京理科大学）

副編集委員長
貞廣真紀（明治学院大学）
副編集委員長
高木眞佐子（杏林大学）
副編集委員長
宮下治政（鶴見大学）
編集委員

大道千穂（青山学院大学）、加藤有佳織（慶應義塾大学）、久野陽一（青山学院大学）、久保陽子（日本大学）、小池久恵（医療創生大学）、小泉勇人（東京科学大学）、古村敏明（明治学院大学）、杉山直子（日本女子大学）、武久智一（埼玉県立大学）、田代尚路（大妻女子大学）、野崎直之（東京薬科大学）、古谷裕美（関東学院大学）、皆本智美（早稲田大学）、吉野由起（東京女子大学）

◎編集委員会報告

2025年5月24日（土）にオンライン（Zoom）で2025年度第1回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 本年度の編集方針・校正スケジュール
2. 投稿論文と特別寄稿論文の査読割り振り、投稿規程の確認、論文の体裁、取り扱い
3. 優秀論文賞・新人奨励賞（村山賞）の選考方法
4. 委員の任期と候補
5. 特別寄稿論文の依頼・審査手順
6. 投稿規程の修正

2025年7月12日（土）にオンライン（Zoom）で2025年度第2回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 投稿論文査読結果・審議
2. 特別寄稿論文査読結果・審議
3. 2026年度の特刊寄稿論文の執筆依頼
4. 2025年度委員の後任人事
5. 今後の予定の確認

今年度の編集委員は以下の通りです。（敬称略・五十音順）

編集委員長
佐久間由梨（早稲田大学）

◎大会準備委員会報告

2025年4月20日（日）にオンライン（Zoom）で2025年度第1回大会準備委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 今後の大会企画担当の確認
2. 2025年度秋季大会の日程と企画
3. 今後の予定の確認

2025年7月19日（土）にオンライン（Zoom）で2025年度第2回大会準備委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2025年度委員の後任人事選出方法
2. 今後の大会企画担当の確認
3. 秋季大会プログラムとプログラム作成手順

秋季大会のシンポジウム企画は以下の通りに予定しております。（敬称略）

シンポジウム 1 (イギリス文学部門)

題目：ヴィクトリアン・デザインのゆくえー
ラスキン、アーツ・アンド・クラフツ
運動、そしてモダニズムへ

司会・講師 輪湖美帆 (中央大学)
講師 菊池かおり (大東文化大学)
講師 川端康雄 (日本女子大学名誉教授)

シンポジウム 2 (アメリカ文学部門)

題目：現代アメリカ演劇における多様性と変
遷

司会・講師 松本美千代 (日本大学)
講師 谷佐保子 (早稲田大学非常勤講師)
講師 有馬弥子 (恵泉女学園大学名誉教授)
講師 伊藤寧美 (大阪大学)

シンポジウム 3 (英語学・英語教育部門)

題目：これまで、そしてこれからの英語教育
について

司会・講師 志手 and 行 (東京福祉大学)
講師 トム・ゴース (立正大学)
講師 須永豊 (日本大学)

4. 今後の予定の確認

今年度の大会準備委員は以下の通りです。

(敬称略・五十音順)

大会準備委員長

山中章子 (日本工業大学)

副委員長

山口敬雄 (東京福祉大学)

大会準備委員

加藤洋昭 (聖徳大学)、鎌田明子 (東京農
業大学)、工藤紅 (立正大学)、今野史昭
(明治大学)、鈴木孫和 (成蹊大学)、関根
全宏 (東京家政大学)、松井一馬 (中央学

院大学)、松本美千代 (日本大学)、水口小
百合 (江戸川大学)、輪湖美帆 (中央大学)

◎事務局よりご連絡

1. 2026 年度の理事選では、メールアドレス
を利用した投票を予定しています。メー
ルアドレスの登録・変更をご希望の方は、
日本英文学会 HP のメールアドレス登録
フォーム (学会メーリングリスト用) か
ら行ってください。
2. 関東支部では、会員の皆様に向けたメー
ルマガジンを発行しております。メー
ルマガジンへのご登録をいただければ、支
部大会等の情報や、関東地区で開催され
る、英米文学・英語学・英語教育学関係
の学術イベントの情報もご覧いただけま
す。メールマガジンへの登録手続きは、
関東支部 HP よりお願いします。
3. 2019 年度より日本英文学会の『大会 Pro-
ceedings』は冊子体での発行を廃止し、ウ
ェブ上でのみ公開する電子版 (PDF 版)
へと移行されました。それに伴い「関東
支部大会 Proceedings」を関東支部 HP に
て公開しております
4. 『関東英文学研究』への投稿論文数は、今
年度は 15 本となり、前年度よりも増加い
たしました。関東支部は、意欲ある研究
者を応援いたします。英文学、米文学、
英語学、英語教育学だけではなく、ここ
数年の投稿論文に多く見られる、様々な
分野を横断した複合的な領域にも対応し
ています。優秀な論文には、新人奨励
賞・優秀論文賞を授与しています。若手
の方もどうぞ積極にご投稿ください。
次号の締切は 2026 年 5 月 15 日の予定で
す。投稿規程については最新の『関東英

文学研究』もしくは関東支部 HP の「編集委員会」のページをご参照ください。

5. 関東支部では、中学校、高等学校、その他教育機関を対象に、支部会員を英米文学・文化、英語教育等に関する講演や授業に講師として派遣しています。講演や授業をご希望の中学校、高等学校、高等専門学校、大学、社会教育施設、生涯教育機関関係者の方々は、ぜひ関東支部事務局 (kanto@elsj.org) までご連絡ください。学会として協力が可能であると判断した場合には、学会で講師の斡旋、依頼をおこない、さらに、講師派遣に関わる講演料の一部を基金から支出します。詳しくは、関東支部 HP の「講師派遣事業」のページをご参照ください。

(文責 塚田雄一)

【中部支部】

◎支部長挨拶

愛知淑徳大学が事務局を担当して2年目になりました。2024年度の支部大会は、小泉凡先生をお迎えして久しぶりに特別講演を実施し、シンポジウム、研究発表には多くの会員がご出席くださいました。会員の皆様のご協力をいただくことで中部支部会を運営できますことを実感いたしました。

愛知淑徳大学の事務局は、残り半年となりました。2026-27年度事務局の名城大学・中部大学により良い形でお渡しできるように、中部支部の運営体制の見直しに努めてまいります。そして、英語文学・英語学分野の活発な研究活動の拠点となりますように、会員の皆様にはさらなるご協力とご理解を賜りたく存じます。今後ともご支援いただきますよう、よろしく願い申し上げます。(太田直子)

◎『中部英文学』第45号投稿論文審査状況

今年度は5件(イギリス文学3件、アメリカ文学1件、英語学1件)の投稿がありました。7月5日(土)にオンラインで開催された編集委員会において慎重に審議した結果、採用2件、再審査2件、不採用1件との決定がなされました。再審査となった論文の修正状況を確認の上、9月中旬に掲載論文を決定いたします。

◎第77回支部大会

10月25日(土)に中部大学にて第77回支部大会を開催いたします。詳細は大会プログラム(9月下旬に発送予定)をご覧ください。お誘いあわせのうえ、奮ってご参集ください。

◎常に最新の会員情報をお知らせ下さい

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の変更がおありの場合は、すみやかに本部事務局と支部事務局の両方にご連絡ください。また、メールアドレス未登録の方は、業務効率化のため、ぜひともご登録をお願いいたします。いただいた個人情報は、中部支部の業務のみに使用し、他の用途には使用いたしません。

(文責 二村慎一)

【関西支部】

◎機関誌『関西英文学研究』第19号(『英文学研究支部統合号』第18巻)について

来年1月の発行に向けて、現在編集作業中です。本年度の編集委員は、【イギリス文学部門】板倉厳一郎(関西大学)、栗山智成(京都大学)、小島基洋(京都大学)、木島菜葉子(同志社女子大学)、中村仁紀(京都大学)、松家理恵(神戸大学(誉))、南谷泰良(京都大学)、【アメリカ文学部門】後藤篤(京都府立大学)、島貫香代子(関西学院大学)、高橋綾子(兵庫県立大学)、林姿穂(京都外国語大学)、古木圭子(奈良大学)、【英語学部門】白杵岳(京都産業大学)、鈴木大介(大阪大学)、森下裕三(桃山学院大学)、吉本真由美(関西学院大学)の計16名(敬称略、分野別50音順)。委員長は板倉厳一郎、副委員長は栗山智成の各氏です。

機関誌には全部で13編の投稿があり、掲載論文と奨励賞論文について現在審査中です。特別寄稿論文執筆者は小宮真樹子(近畿大学)、小田敦子(三重大学(誉))、瀧田健介(同志社大学)の各氏、書評「私の一冊」執筆者は奥村沙矢香(神戸大学)、白川恵子(同志社大学)、住吉誠(関西学院大学)の各氏を予定しています。

◎第20回支部大会について

12月13日(土)に摂南大学寝屋川キャンパスで開催予定の支部大会にむけて、4月と7月に大会準備委員会を開催し、目下準備作業中です。本年度の大会準備委員は、【イギリス文学部門】合田典世(京都大学)、西垣佐理(近畿大学)、西谷茉莉子(京都府立大学)、吉村征洋(龍谷大学)、【アメリカ文学部門】高村峰生(関西学院大学)、出口菜摘(京都府立大学)、

【英語学部門】五十嵐海理（龍谷大学）、松原史典（京都女子大学）、【開催校委員】齋藤安以子（摂南大学）の計9名（敬称略、分野別50音順）、委員長は西谷茉莉子、副委員長は合田典世の各氏です。

プログラムについては本部HPをご覧ください。9月に関西支部HPでもお知らせいたします。

◎メールアドレス登録のお願いについて

支部事業の運営、諸種の連絡の効率化のため、会員の皆様にはメールアドレスの登録をお願いしています。近年、就職・転職・退職その他の事情で使用メールアドレスが変更して、その届けがまだの方は、変更届をお願いします。その他、住所・所属・身分の変更も含め、手続きは日本英文学会ホームページの「お問い合わせ」「ご連絡・お問い合わせフォーム」(<https://www.elsj.org/inquiry/>)よりお願いいたします。

◎支部体制について

2025年度は以下の体制で運営しております（敬称略、各項目50音順）。

支部長

横内一雄（関西学院大学）

副支部長

芦津かおり（神戸大学）

選挙理事

芦津かおり（神戸大学）、木原善彦（大阪大学）、霜鳥慶邦（大阪大学）、荘中孝之（京都女子大学）、竹村はるみ（立命館大学）、西谷拓哉（神戸大学）、西山けい子（関西学院大学）、橋本安央（関西学院大学）、森慎一郎（京都大学）、横内一雄（関西学院大学）

支部長推薦理事

圓月勝博（同志社大学）、齊藤美和（奈良女子大学）、杉浦裕子（甲南大学）、谷口一美（京都大学）、寺田寛（大阪教育大学）

事務局長

霜鳥慶邦（大阪大学）

副事務局長

中村未樹（大阪大学）

会計

竹山友子（関西学院大学）

事務局補佐

北口未来（関西学院大学院生）、中村瑞樹（大阪大学）

会計監査

柳楽有里（兵庫県立大学）、西垣佐理（近畿大学）

本部理事

荘中孝之（京都女子大学）、横内一雄（関西学院大学）

本部評議員

芦津かおり（神戸大学）

◎事務局

事務局は下記のとおりです。

〒662-8501

兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学文学部 横内一雄研究室内

日本英文学会関西支部事務局

電子メール：kansai2@elsj.org

ホームページ：<https://www.elsj.org/kansai/>

（文責 霜鳥慶邦）

【中国四国支部】

◎中国四国支部第77回大会準備委員会報告

第77回大会準備委員会を2025年5月28日(水)にオンライン(Zoom)で開催し、研究発表等のプログラム、大会運営、支部運営に関して協議しました。第77回大会は、高知県立大学・高知県立大学文化学部との共催で開催されます。大会の詳細につきましては、また改めてご案内申し上げます。

◎学会誌編集委員会報告

『中国四国英文学研究』第22号(『英文学研究 支部統合号』第18巻)の編集委員会を2025年7月5日(土)にオンライン(Zoom)で開催し、2編の投稿論文の第一次審査を行い、いずれも掲載不可としました。

◎中国四国支部第77回大会の懇親会について

大会準備委員会での協議の結果、懇親会を以下の通り、開催することとなりました。

日時：2025年10月25日(土) 17:30～

場所：高知県公立大学生協永国寺キャンパス
食堂

◎中国四国支部第77回大会の懇親会の参加・不参加について

学会経費削減のため、懇親会参加・不参加のご連絡は中国四国支部のホームページ上でご入力いただきますようお願い申し上げます。ホームページ上での入力期間は、8月27日(水)より10月5日(日)までです。不参加の場合もご入力ください。

◎中国四国支部第77回大会期間中における託児所の利用料金補助の実施

先日まで大会期間中のKids Room ひよこ様の利用について学会HPにて掲載していたところですが、Kids Room ひよこ様は8月末で急遽閉園されることとなりました。Kids Room ひよこ様は大会期間中に近隣で唯一利用可能な託児サービスであったことから、今大会では会場校及び会場校近隣で託児サービスの提供ができないこととなりました。会員の皆様には大変ご不便をおかけすることとなり、申し訳ございません。

ただ、会場校から離れた箇所に1か所託児サービスを提供している業者がありますので(タクシー等を利用して行き来していただく形になるかと思われます)、ご利用を検討される方は事務局(chu-shi@elsj.org)までお知らせください。業者の案内や利用料金補助等の詳細につきまして、個別に相談させていただければと存じます。

◎支部メーリングリストの更新について

現在、支部で使用するメーリングリストの更新を行っております。会員の皆様には、新しいメーリングリストシステム(GroupML)への招待メールが届きましたら、登録作業を行っていただきますよう、お願い申し上げます。所属先が変更になられた方で会員名簿のメールアドレスを変更されていない場合は、メーリングリストに登録できませんので、日本英文学会HPのご連絡・お問い合わせフォームより日本英文学会本部事務局にご連絡頂いて、更新をお願いいたします。また、更新した旨を中国四国支部事務局(chu-shi@elsj.org)にもお知らせいただきますようお願いいたします。

メーリングリストの利用により、郵送費など

の経費の削減、より迅速な情報提供、より効率的な学会運営が実現できております。新メンバーリストへの登録につきまして、ご協力いただきますようお願いいたします。

◎支部ホームページのリニューアルについて

支部ホームページをリニューアルいたしました。新しい URL は、以下の通りです。ブックマーク等の変更をお願いいたします。

<https://elsj.org/chu-shi/>

◎支部事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。

事務局長： 西原貴之（広島大学）

事務局長補佐： 周 躍（島根大学）

日本英文学会中国四国支部事務局

〒739-8524

広島県東広島市鏡山 1-1-1 広島大学大学院
人間社会科学研究科（教育）

西原 貴之 研究室内

TEL: 082-424-7061

Email: chu-shi@elsj.org

HP: <https://elsj.org/chu-shi/>

（文責 西原貴之）

【九州支部】

◎九州支部ホームページについて

日本英文学会九州支部のホームページ (<https://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>) には、『九州英文学研究』投稿規定、支部大会関連情報、理事会・評議員会や編集委員会の議事録、その他の重要な情報が掲載されています。積極的に御活用いただければ幸いです。

◎機関誌『九州英文学研究』について

- 1) 機関誌『九州英文学研究』第41号（『英文学研究支部統合号』第17巻）が刊行されました。イギリス文学1編（徳漣）、アメリカ文学1編（徳漣）計2編の論文が掲載されました。
- 2) 編集委員の福田稔氏、山田英二氏（ともに英語学部門）が2025年3月31日に退任され、それぞれの後任として前田雅子氏、竹安大氏（ともに英語学部門）が選出されました。
- 3) 機関誌『九州英文学研究』第42号（『英文学研究支部統合号』第18巻）は、2026年1月発行に向けて、竹内勝徳編集委員長（アメリカ文学、鹿児島大学）、宮川美佐子副編集委員長（イギリス文学、福岡女子大学）、松元浩一副編集委員長（英語学、長崎大学）を中心に、【イギリス文学部門】鶴飼信光（九州大学）、後藤美映（福岡教育大学）、小林潤司（鹿児島国際大学）、園田暁子（福岡大学）、鶴田学（福岡大学）、宮川美佐子（福岡女子大学）、【アメリカ文学部門】齊藤園子（北九州市立大学）、坂井隆（福岡大学）、高野泰志（九州大学）、竹内勝徳（鹿児島大学）、藤野功一（西南学院大学）、【英語学部門】竹安大（福岡大学）、西岡宣明

(九州大学)、前田雅子(九州大学)、松元浩一(長崎大学)、村尾治彦(熊本県立大学)の計16名(敬称略・部門ごと五十音順)からなる編集委員会が、編集委員、及び8名の外部審査委員の審査報告に基づき掲載論文と優秀賞論文・奨励賞論文について審議いたしました。投稿論文は、英文学2編、米文学3編、英語学4編の計9編でした。7月27日の編集委員会にて投稿論文の審査を終えた後に、審査結果が編集委員会から投稿者に送られる予定です。再審査論文の再提出後、9月半ばにその審査を経て、最終的に第42号に掲載される論文が決定されます。

書記(会計)
西村恵(福岡大学講師)
書記(大会準備)
坂井隆(福岡大学准教授)
書記(プロシーディングス)
吉村理一(九州大学助教)
書記(ウェブ管理)
竹安大(福岡大学教授)

(文責 鶴田学)

◎第78回(2025年度)支部大会について

第78回支部大会は、2025年10月25日(土)・26日(日)の両日に、鹿児島大学(鹿児島市郡元)で開催予定です。

◎支部事務局

令和7年度の事務局は下記にて運営しております。

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1
福岡教育大学教育学部後藤美映研究室内
E-mail: elsj.kyushu.branch@gmail.com
HP: <https://kyushu-elsj.sakura.ne.jp>

支部長・日本英文学会理事

後藤美映(福岡教育大学教授)

副支部長・日本英文学会評議員

中村嘉雄(九州大学教授)

『九州英文学研究』編集委員長

竹内勝徳(鹿児島大学教授)

事務局長

鶴田学(福岡大学教授)